

20 様々な支援

1. 様々な励まし

東日本大震災では、石巻の中学生の現状を知った多くの方々から、日常に必要な物資に加え、制服、通学のための自転車、ヘルメット、運動着や運動靴など学校生活に必要なものが届けられました。



【全国から届けられた支援物資】



【学校生活の支援のために届けられた物資】

○当時の被災した中学生はどんなことに困っていたのか考えてみよう。

全国の中学生からたくさんの励ましのメッセージが届けられました。また、多くのアスリートも石巻に足を運び、交流することで励ましてくれました。

そして、「支援の輪」は海外にも広がり、世界中から応援のメッセージや支援物資が届けられました。海外からの支援者の中には、直接学校を訪れ、励ましてくれる人たちもありました。さらに市内の中学生を海外へ招待するという活動も行われ、支援されるだけでなく、人や文化の交流も行われました。

2. ボランティア、NPO等の協力

震災後、他の県の多くの学校から、石巻市や各学校あてに、励ましや応援のメッセージや寄せ書きが送られました。

震災直後から平成26年3月末までに災害ボランティアセンターで受け入れたボランティアの人数は116,000人、NPO等の団体支援で受け入れた人数は170,000人を超えています。それに加えて、独自に活動されたボランティアの方々も多くいました。現在も多くのボランティアやNPO法人の人たちが、石巻の様々な分野の活動を支援してくれています。



【市民市場での復興市】



【復興市での交流イベント】



【ボランティアで清掃をする方々】



【石巻市に寄せられた応援メッセージ】

○震災当時を知る方に話を聞き、被災した石巻に対して実際にどのような支援が行われたのかを調べてみましょう。